

# 「事業名：日本版ハンフォードモデル構築による福島復興創生」 2019年度事業の概要

**東日本国際大学 連携市町村：いわき市、広野町、楡葉町、川内村、富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、葛尾村**  
**現地拠点：福島県双葉郡広野町大字下北佐久迫字大谷内65**

## 事業のポイント

本事業の主な趣旨は、東日本国際大学福島復興創世研究所をコーディネーターとして、福島県のいわき市・双葉地方8町村、いわき商工会議所、双葉郡の商工会（産業界）が産学官一体となって米国ハンフォードの主要機関（TRIDEC、ワシントン州立大学、コロンビアベイスン短期大学、パシフィックノースウエスト国立研究所等）と緊密な関係を築き、福島浜通りがハンフォードをモデルとして、廃炉の進展、産業の振興等をより一層促進させ、福島復興に寄与することである。

## 2019年度の活動内容

1. 米国ハンフォード地域の復興方法と福島浜通りでの適応に関する研究の実施

2. 友好都市協定締結に向けた連絡調整

福島浜通りとハンフォードトライシティで「友好都市」協定締結に向けた連絡調整を行う。

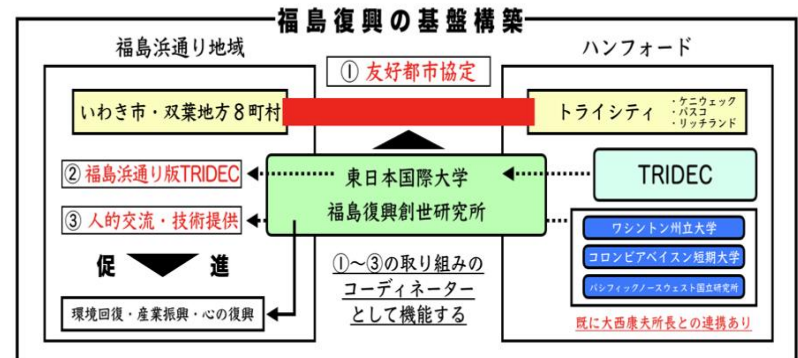
3. 国際セミナー・シンポジウムの開催

東日本国際大学でハンフォードの「復興知」をテーマにした国際シンポジウムを主催する。また、ハンフォードの現地で国際セミナーを開催する。

4. 「心の復興」ワークショップの開催

いわき市及び広野町で「心の復興」を目的としたワークショップを開催する。

## 日本版ハンフォードモデル構築による福島復興創生



## 地元のニーズに根ざした福島復興のビジョンの形成と達成

## 取り組みによって得られる成果

1. 地元主導による福島復興創生に関するビジョンの形成と実行
2. 福島及びハンフォードの「復興知」に関する国際的な情報交換及び共有
3. 福島浜通りの産業構造の多角化・高度化への貢献

### 国際セミナー・シンポジウムの開催

- ① 国際セミナー：ハンフォード地域で開催
- ② 国際シンポジウム：東日本国際大学で開催

(2019年度・2020年度)

### 心の復興ワークショップの開催

災害対策で世界的実績を有する  
 専門家がいわき市・広野町で開催

(2019年度)

### 学生のハンフォードへの派遣（スタディツアー）

「福島原発事故と災害復興」及び  
 「復興学」の成績優秀者を対象とする  
 「福島復興創生イノベーションコース（仮称）」の設置

(2020年度)